
別れ道、繋ぎ道

綺葦

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

別れ道、繋ぎ道

【Nコード】

N1954E

【作者名】

綺章

【あらすじ】

別れても、未練のあった男。しかし、女は

何でだろうか…

初めはあんなにも貴方を愛してた。

ドキドキしてた

だけど、今は何も感じない…

離れていても、近くにいても、頭にはあなたの存在はない

その代わり、あの人の笑顔が浮かぶの…

胸がオドルの

ねえ、これって…

- - - - -

どうしたんだろうな…手に入れたくて、愛おしくて仕様がなかった

お前を、つまらなく思い始めたなんて…

アイツが初めて見せた弱い姿が焼き付いていて離れない

まさかと思う、まさかこれが…

- - - - -

「真吾、別れましょうか…」

「俺も。気になる奴が出来た」

「奇遇ね…私もなのよ」

それは、慣れだったのか…運命なのか

- - - - -

あの人は、彼女がいた…別れた後に知った

彼の眼中に、私は居ない…ああ、胸が痛い…視界が歪む

死んでしまいそう…

…私は、思った以上に彼を好いていたのだ

- - - - -

アイツは、旅立った…海の向こうに

別れた後だった、知ったのは

何故だろうか…アイツが渡米してから、真由美の顔が頭をよぎる

結局、俺が愛していた（いる）のは初めから真由美だけだったのだ

……

慣れ、か…

途方もない空虚感に、ただ、真由美に会いたくなつた

家から17分ほどの距離にある真由美のマンション、二月ぶりだつた…

部屋の中には真由美が居る……

鍵がかかっているかもしれないドアを、期待を胸に開けてみる

ガチャ、

よかつた……

でも、姿が見えない…

ふと、通りかかつた部屋、お前を見つけた…

ああ、一体お前はいつからこんなに冷たくなつたんだ？

赤の部屋の真ん中で、横たわるお前、見つめる俺

最期まで思い続けていたのは、俺か、あの男か……

チクリ、と腹を貫く痛み、これからそっちに行くよ……そしたらまた、やり直せるかな…永遠に

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1954e/>

別れ道、繋ぎ道

2011年1月28日02時57分発行